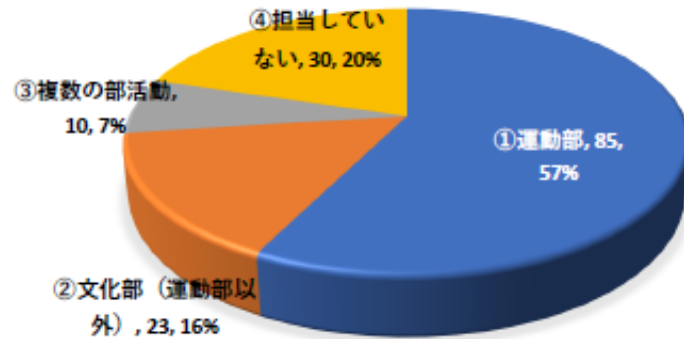
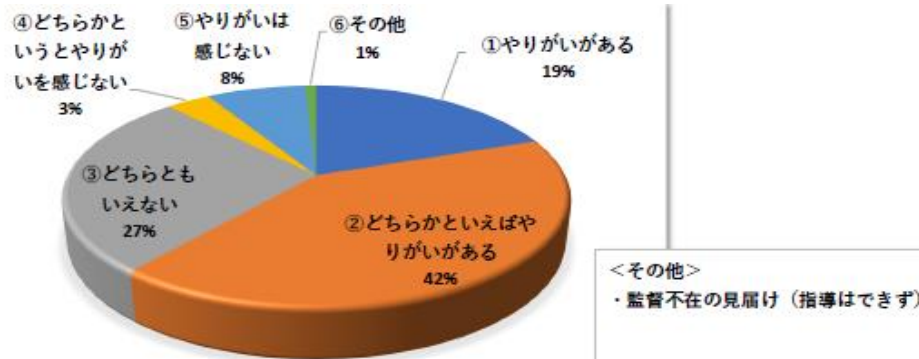


部活動地域展開に関する意識調査 中学校教職員① R6・8～9月実施

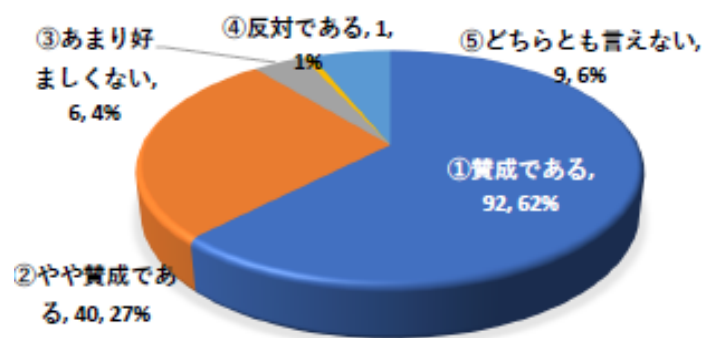
1 現在担当している部活動 回答148



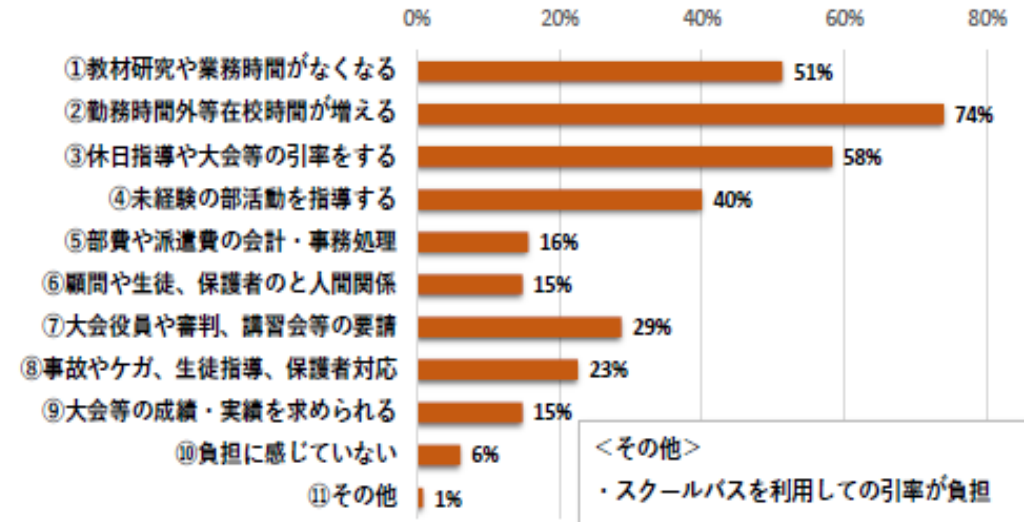
2 部活動指導で感じていること 回答118



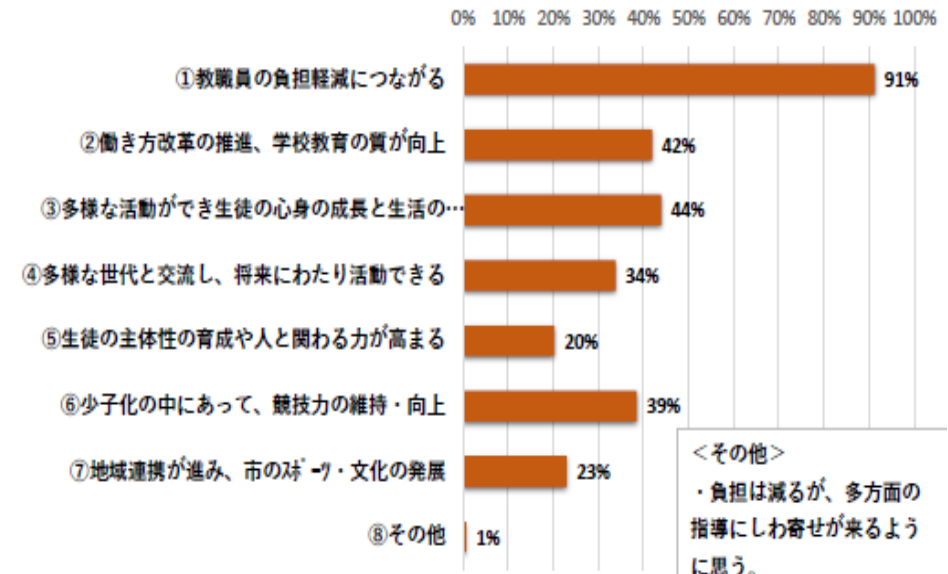
3 「部活動を段階的に地域展開する」ことについて 回答148



4 部活動指導で負担を感じていること 回答115（複数回答）

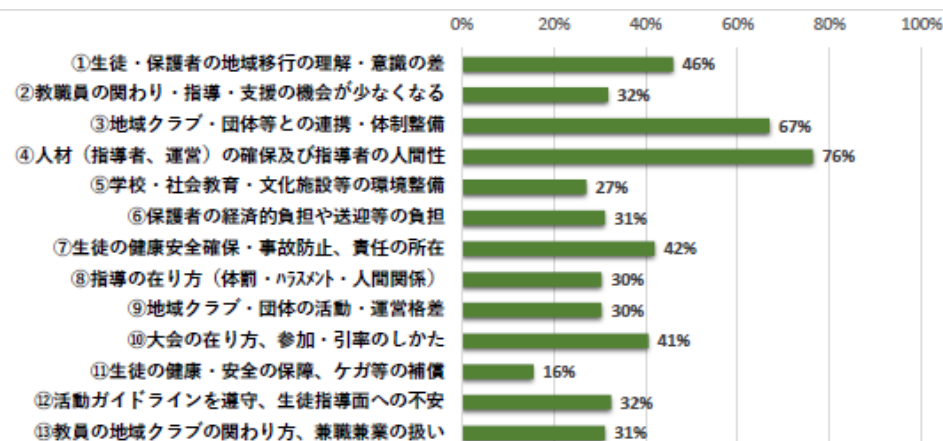


5 部活動の地域展開に期待すること 回答148（複数回答）

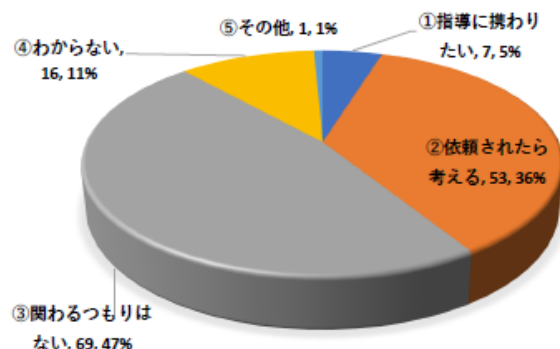


部活動地域展開に関する意識調査 中学校教職員② R6・8～9月実施

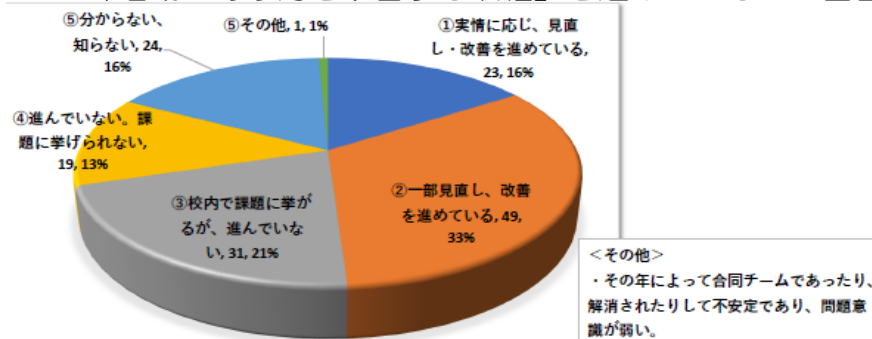
6 部活動の地域展開に向けての課題 回答148（複数回答）



7 地域展開された場合の関わり方 回答146



8 勤務校では「部活動のあり方を改善する取組」を進めているか 回答147



9 部活動の地域展開について意見や要望（記述） 回答27

- ・早期実現を切に希望します。
 - ・生徒数が減少し、希望する活動ができない生徒のためにも地域移行して活動できるように願っています。
 - ・将来的には、大会運営や引率を含め関係団体が主体となった実施の実現を切に望みます。
 - ・移行スケジュールに沿って進むことを願っています。
 - ・子ども主体の移行になるようお願いしたい。
 - ・生徒の声を取り入れながら、生徒（保護者）、学校、地域がウインウインとなる取組につながるよう慎重かつスピード感をもって取り組んでいただきたい。
 - ・試行して見えてくる課題がたくさんあると思う。
 - ・果たして部活動のように生徒が経済状況や交通手段を考えるとなく好きな活動にできるのか、経済状況が生徒の生活に影響しかねないと感じています。
 - ・早い段階で部活動を学校から切り離さないと教員志願者が激減することは目に見えている。スピード感をもって取り組んでほしい。
 - ・これまで教員の業務の一部としてとらえられ、教員が膨大な時間を費やしてきた、時代が変容しこれからの世代に今までのような働き方を求めては、教育界が衰退していくのは教員のなり手不足が現実化していることから明らか。
- 一方、国が示しているにも関わらず、本市では部活動の地域移行の具体が見えてこない。一部の都道府県が実施しているように、土日の部活動を教員が行わないなどの指針を示すなど、早くこの危機的な状況を改善していくことが喫緊の課題であると思う。

部活動地域展開に関する意識調査 中学校教職員③ R6・8～9月実施

9 部活動の地域展開について意見や要望（記述） 回答27

- 施設・設備・用具等の責任の所在を線引きされないと形式的な地域移行となって、実際は教職員がそのための環境づくりやセッティングを頼まれるなど、別負担が複雑化する可能性があるので、移行前に地域クラブ側と入念な体制作りが求められる。
- 受け入れられる体制が整えば賛成であるが、現状では全ての競技が整っていない。部活動では生活面の意識と競技力向上が関係することを直に見て指導してきたが。地域移行となればそれができなくなる。生徒の学校生活での疲労や学習への取組が不安である。部活動に負担を感じている先生は早く解放していただきたいし、やりがいを感じている先生はそのまま関わっていける体制がよいのではないと思う。
- 人員確保を含む多大な予算が大前提だと思います。この地区において、専門的な知識・技能をもち、自身の仕事以外に部活動を担当できる方という、退職された教員以外にいらっしゃるのでしょうか？
- 横手市に限らず、県内でどれだけの人材を集められるかが大きな課題だと考えています。
- 学校とクラブ内の児童生徒の人間関係に係るトラブルは区切られるものではないので、そのフォロー・連携体制も事前に作り込む必要があると思います。

- 学校が荒れそうで心配です杞憂であればいいのですが。
- 教員による指導体制は限界です。
- 主担当と副担当の関わりの差が大きく、主担当で不満を持っている人が多いことを理解してほしい。
- 積極的に地域の指導者等になりたいと考えている。
- 地域の競技団体側の考えや意見を知る機会があればと思います。